

# 新たな文化施設検討の ための基礎資料

令和3年5月

長崎市文化振興審議会

会長 堀内伊吹

(長崎大学教育学部教授)

# 本資料の目的

本資料は、新たな文化施設の検討に資する情報提供を目的とし、日本国内における舞台芸術活動の動向すなわちライブ・エンタテインメント概況を、データに基づき解説します。

本資料の主要データは、ぴあ総研『ライブ・エンタテインメント白書2020』（レポート版）に基づきます。

新型コロナウイルス感染症拡大前の、2019年データにて検討を行います。この他の出典については、各ページに記載しました。

## 【分担】

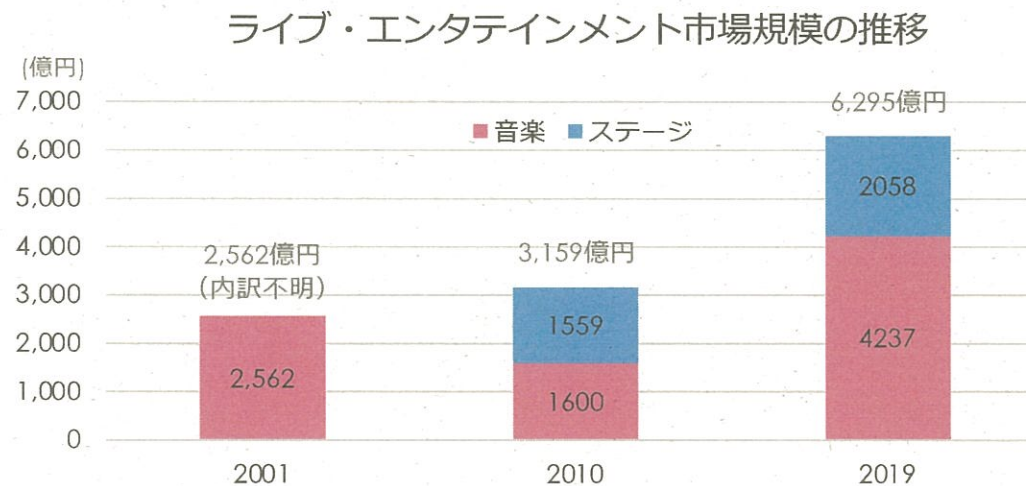
データ分析：新井友梨（長崎大学大学院経済学研究科）

提言：堀内伊吹（長崎大学教育学部）

DATA  
1

# ライブ・エンタテインメントは成長産業

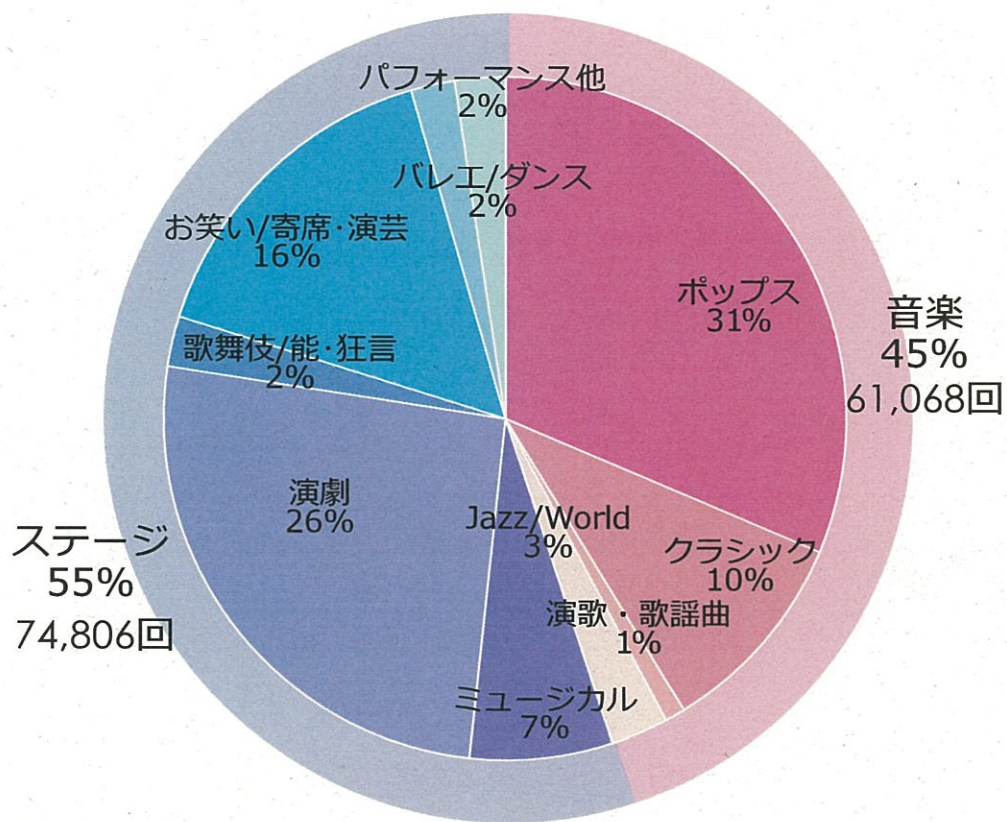
- 新型コロナウイルス感染症拡大前まで、公演数・動員数ともに国内ライブ・エンタテインメント市場は拡大
- 2019年の全体市場規模は6,295億円、2001年と比較して2.46倍成長



©Yuri Arai

DATA  
2-1

# 全国のデータ：公演回数 135,874回



- ① ポップス31%
- ② 演劇26%
- ③ お笑い/寄席・演芸16%
- ④ クラシック10%

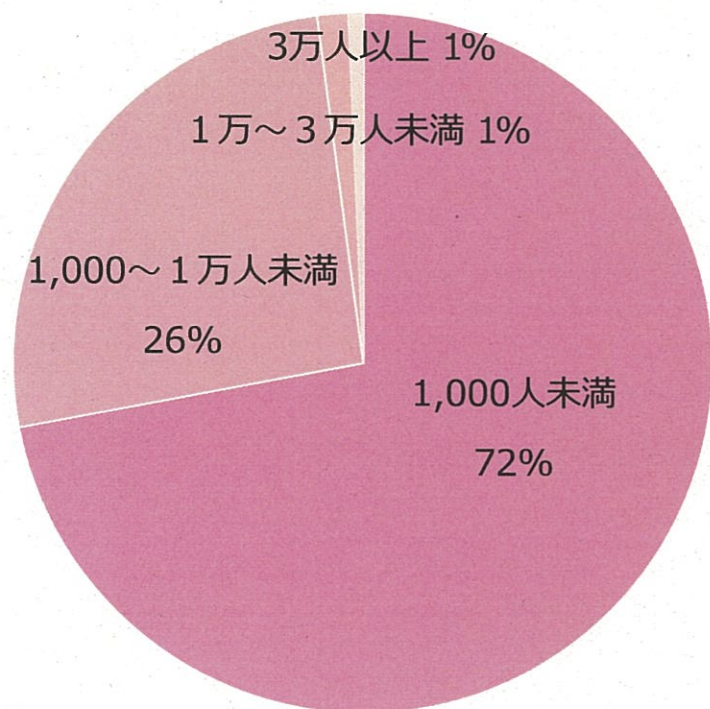
文化施設のジャンル別利用頻度を示唆

算出方法（網羅的に収集した情報ベース）

公演回数	=	チケット事業者 取り扱い公演回数 (チケットぴあ、ローソン チケット、イープラス、 CNプレイガイド)	+	その他取扱公演回数 (興行主催者やアーティストの 公演情報、専門誌や フリーペーパーなどの媒体 にのみ記載された公演)
------	---	---	---	---

DATA  
2-2

## 全国のデータ：会場規模別公演数（音楽）

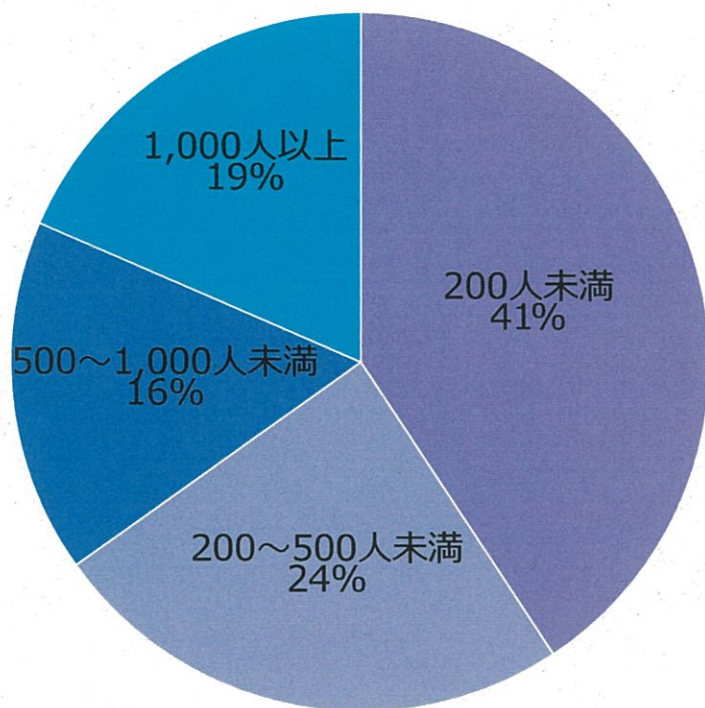


### 【特徴①】

音楽公演の**72%** 43,998公演は、  
会場規模**1,000人未満**の会場を利用

DATA  
2-3

## 全国のデータ：会場規模別公演数(ステージ)



### 【特徴②】

ステージ公演の**65%** 48,722公演は、  
会場規模**500人未満**の会場を利用

### 【特徴③】

ステージ公演の**81%** 60,956公演は、  
会場規模**1,000人未満**の会場を利用

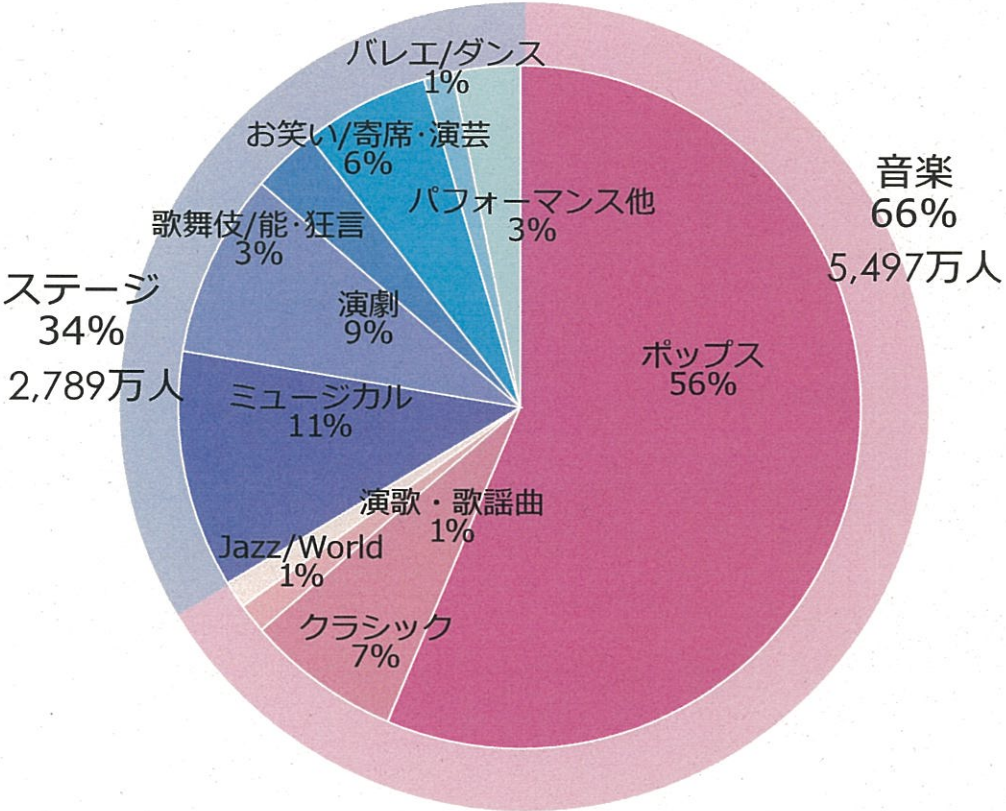


特徴①・③から

全国で行われた公演の**77%**は  
会場規模**1000人未満**の会場で実施

DATA  
3-1

# 全国のデータ：動員数 8,283万人



- ① ポップス56%
- ② ミュージカル11%
- ③ 演劇9%
- ④ クラシック7%

公演回数...ステージ分野が過半数を占めた  
動員数 ...音楽がステージを上回る

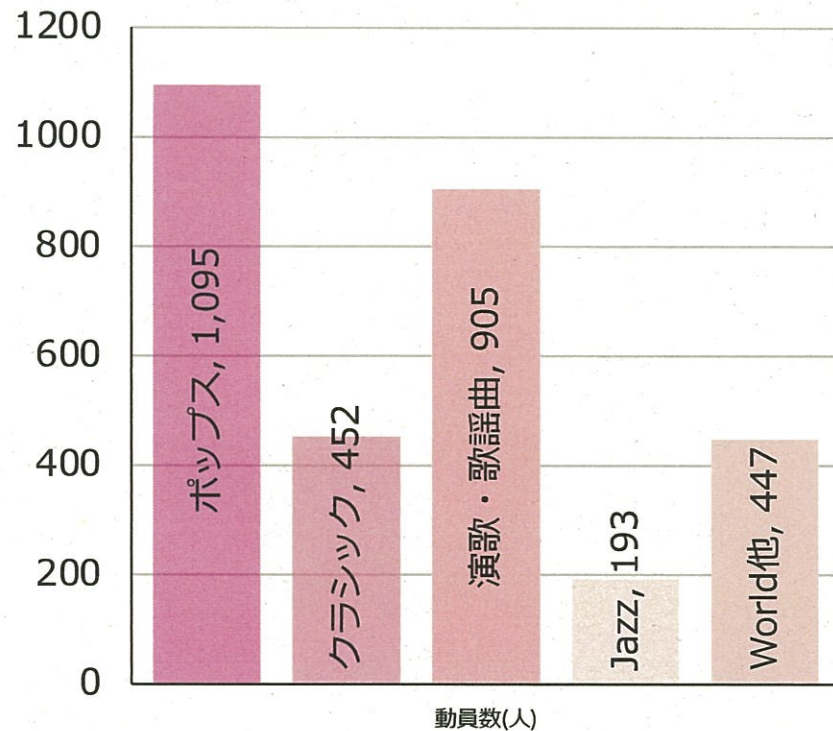
音楽公演の会場キャパシティが  
大きいことを示唆

算出方法 (網羅的に収集した情報ベース)

動員数： チケット 流通累計数	=	チケット販売数 (実績値)	+	その他販売推計 その他設定席数×実売率
-----------------------	---	------------------	---	------------------------

DATA  
3-2

## 全国のデータ：1公演あたり動員数（音楽）



### 【特徴①】

ポップスで1,095人  
次いで演歌／歌謡曲の905人

クラシック、Jazz、World Music  
はいずれも500以下の動員規模

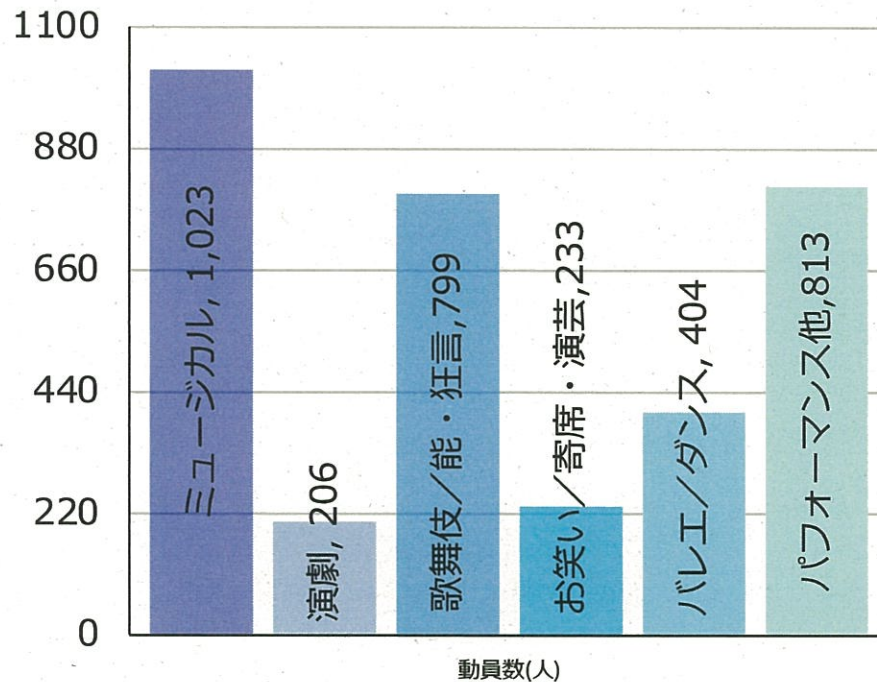


DATA  
3-3

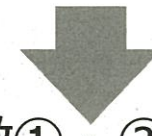
# 全国のデータ：1公演あたり動員数 (ステージ)

【特徴②】

ミュージカルで1023人  
次いでパフォーマンス他 813人  
歌舞伎/能・狂言の799人



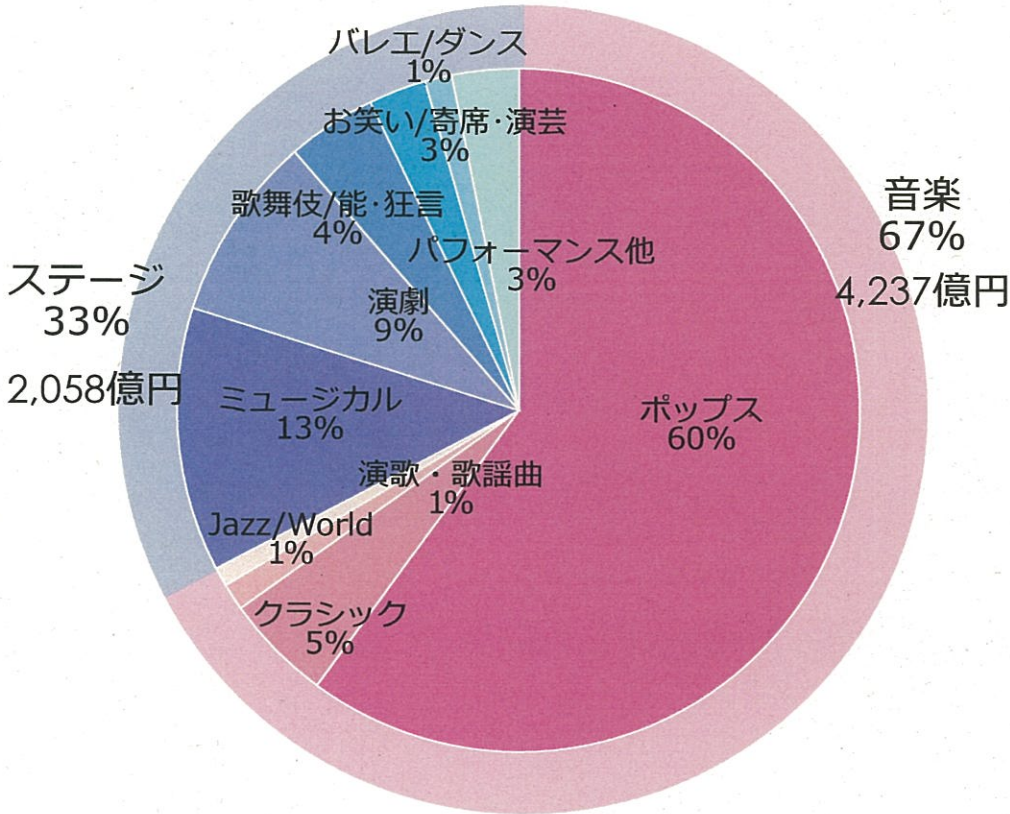
演劇、お笑い/寄席・演芸、  
バレエ/ダンスは200~400人の  
動員規模



特徴①・②から  
ポップスとミュージカル以外の公演は、  
動員数1000人未満

DATA  
4-1

# 全国のデータ：市場規模 6,295億円



- ① ポップス60%
- ② ミュージカル13%
- ③ 演劇9%
- ④ クラシック5%
- ⑤ 歌舞伎/能・狂言4%

3指標の関係性に以下の特徴がある。  
 Type A 公演数 > 動員数 > 市場規模  
 Type B 公演数 < 動員数 < 市場規模

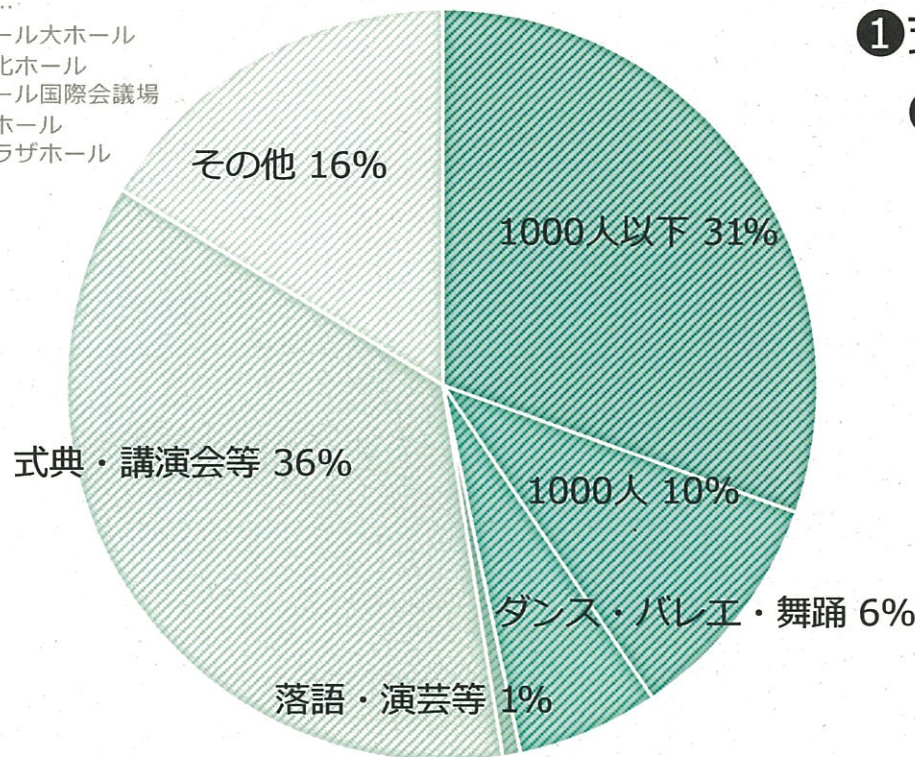
算出方法 (網羅的に収集した情報ベース)

動員数： チケット 流通累計数	=	チケット販売額 (実績値)	+	その他販売推計 その他設定席数×単価
-----------------------	---	------------------	---	-----------------------

# 長崎のデータ：ジャンル別利用状況

長崎市内5施設のジャンル別利用状況（平成29年実績）

市内5施設…  
ブリックホール大ホール  
市民会館文化ホール  
ブリックホール国際会議場  
チトセピアホール  
市民生活プラザホール



①式典・講演会等 36%

②音楽関係 31%

③その他 16%

④演劇関係 10%

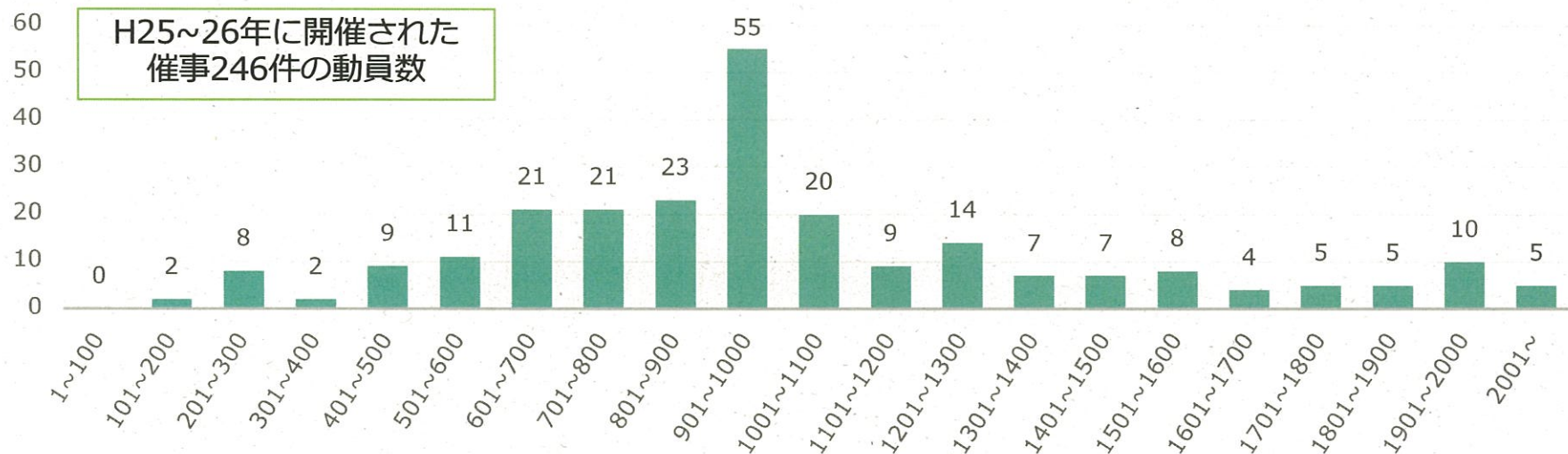
⑤ダンス・バレエ・舞踊 6%

⑥落語・演芸等 1%

- **公演以外の利用が最も多い。**
- **次いで音楽分野→演劇分野と続く**  
**全国とも共通した利用状況。**
- **落語・演芸は特に少ない。**

# 長崎のデータ：大ホール動員状況①

新たな文化施設検討のきっかけとなった旧長崎市公会堂

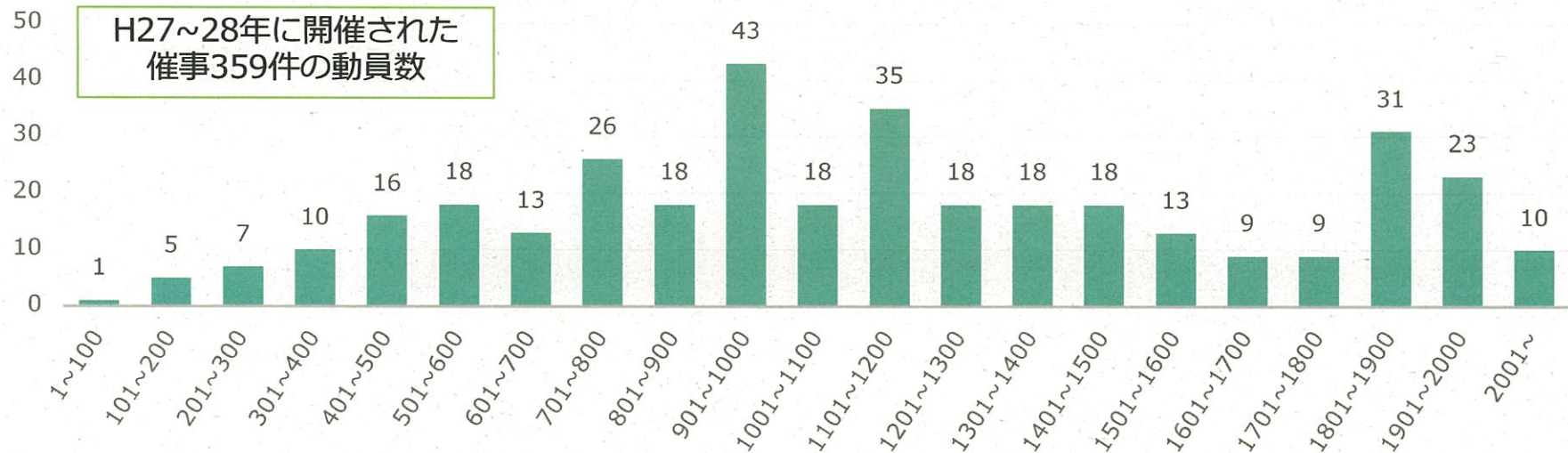


- 平均動員数 **964人** / **1,751席**(客席稼働率**55%**)
- 動員数**1,000人以下**の催事が**152件**。全体利用数の**62%**を占める。

出典：長崎市HP 第5回文化振興審議会資料

## 長崎のデータ：大ホール動員状況②

長崎市内の最大客席数を有する長崎ブリックホール大ホールの動員状況



- 平均動員数 **1,055人** / **2,002席** (客席稼働率**52%**)
- 動員数**1,000人以下**の催事が**157件**。全体利用数の**43%**を占める。

➡ 大ホールが動員1,001人以上のイベントで逼迫する状況にはない。

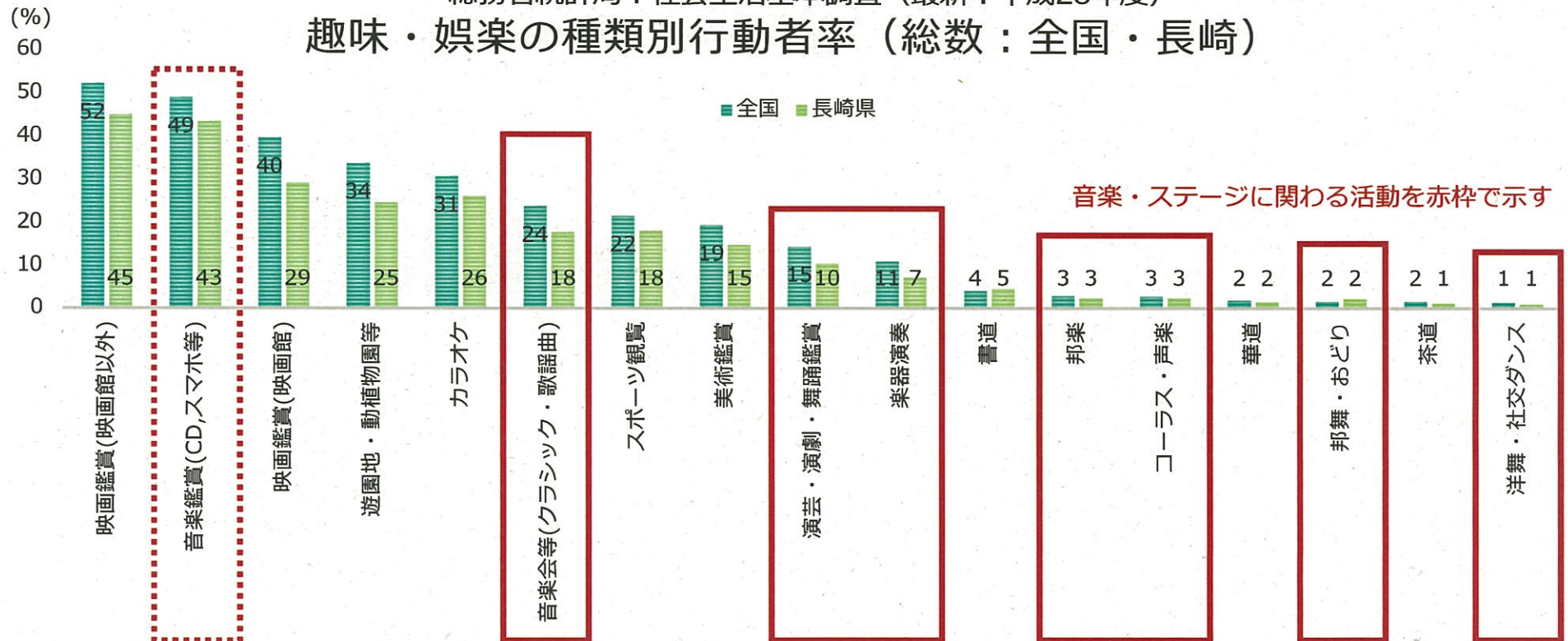
出典：長崎市HP 第5回文化振興審議会資料

DATA  
5-4

# 長崎のデータ：実演と鑑賞

総務省統計局：社会生活基本調査（最新：平成28年度）

趣味・娯楽の種類別行動者率（総数：全国・長崎）



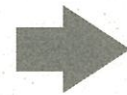
音楽・ステージに関わる活動を赤枠で示す

↑  
今後配信等を考慮した場合に関連

## 長崎のデータ：舞台芸術を支える機能

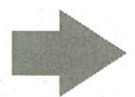
### ブリックホール

練習室稼働率 **95.5%**  
リハーサル室稼働率 **83.1%**

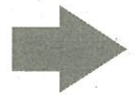


舞台芸術活動を支えるための  
施設機能が圧倒的に不足

特に2020年以降、市内で民間カルチャーセンター等が相次ぎクローズ。



練習場所の代替施設として、公民館等に分散化も、社会教育法に基づく施設では利用目的のしぼり・施設環境面で限界あり。



文化芸術基本法及び劇場、音楽堂等の活性化に関する法律、自治体文化政策の中に位置づけられ、舞台芸術に特化した優れた環境のもとでこれらの活動を支え、新たな世代を育て、振興が図られる必要性。

# 再確認事項

---

## 1. 新たな文化施設の目指す姿「新たな文化施設基本構想」

**「芸術文化と平和を世界と共有する」**

---

## 2. 長崎市第五次総合計画（新たな文化施設が完成・稼働する時期を計画期間とする）

**2-1 「芸術文化に触れる機会を創出します」**

**2-2 「市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図ります」**

---



# 基本的な考え方

- 新たな文化施設は、市民のニーズに合致し、社会的ニーズにマッチしたものであるべきことは大前提。その文化施設は長崎市の文化施策の象徴となる。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、現在は事業及び活動減少が目立つものの、舞台芸術は大きな市場規模を有し、人の動きを生み出す原動力であることに変わりはない。

市長見解

\* 公会堂建て替えについての懇談時

**「みんなが我慢して使うということではなく、  
できるだけびのびと活動できる場所にすることが、一番の責任だ」**

**「長崎市が今後文化都市として歩むときの理念であり、大義となる」**

## 前回の審議会委員から頂いたご意見

- 客席から見やすいステージ、舞台のエネルギーが直接伝わる規模のホール
- 舞台スタッフが、きちんとした仕事ができるバックヤードの確保
- 大人数での使用は、ブリックホールでも可能だろう（市内他施設との役割分担）
- 長崎市に一つくらいは響きのいいホールがあってもいいのではないか。



皆様のご意見をふまえた上で、  
ぴあ総研のデータ及び過去の長崎の利用実態 等から、  
今後利用が一番多く見込まれるのは、  
**1,000席**・あるいは**1,000席以下**のホールであると考えられる。

# 津村委員からの投げかけ 「長崎の人は新ホールで何を観たいのか？」①

基本構想でのまとめ：芸術性が高い多様なジャンルの公演

現段階の堀内意見：今まで長崎で鑑賞することができなかった良質な舞台芸術

施設	上演ジャンル
ブリックホール	興行的なポップス、商業演劇、大編成のオーケストラ等
専門性の高い 新たな文化施設	演劇、生音での室内楽や合唱、中編成のオーケストラ、バレエ、ダンス、ミュージカル、伝統芸能等 <u>【対応】長崎市第五次総合計画「芸術文化に触れる機会を創出します」</u> オペラ『マダム・バタフライ』定期的実演 <u>【対応】新たな文化施設の目指す姿「芸術文化と平和を世界と共有する」</u>

# 津村委員からの投げかけ 「長崎の人は新ホールで何を観たいのか？」②

基本構想でのまとめ：芸術性が高い多様なジャンルの公演

現段階の堀内意見：**新施設の機能充実**

専門性の高い  
新たな文化施設

- 文化芸術活動の活性化のための練習室・リハーサル室の充実
- 文化活動のコーディネーターとしての役割

【対応】長崎市第五次総合計画

「市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図ります」